

公表

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

事業所名		てらびあほけと四日市西浦教室						公表日	2026年	1月	9日
		利用児童数				15	回収数	15			
		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	1			・利用者が多い時はやや狭いと感じる。 ・確保されている。 ・狭いと思ったことはないです。 ・十分だとおもいます。	・大部屋では、遊び方に応じて職員が安全面に配慮し、できる限り広いスペースを確保できるよう工夫してまいります。			
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	15				・個別での指導ができている。 ・一人に一人いるので、良いと思う。				
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	14	1			・そう思います。 ・フィードバックの際、時間をプラスしてくれて配慮して下さっていると思います。 ・駐車場は不便だと思います。 ・適切にしていると思う。 ・きれいに整えられていると思います。	・引き続き近隣の駐車場を確保できるよう、情報収集に努めてまいります。			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	15				・きれいにしてもらっている。 ・いつもきれいにしてもらっている。 ・合っていると思います。 ・きれいに整えられています。 ・良いと思う。				
適切な支援の提供	5	子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13	2			・友達とのふれあいをしてもらえると良いと思う。 ・思います。	・スポット利用や年齢差がある場合にも、それに合わせたソーシャルセラピーを実施し、長期休暇中のスポット利用やクール変更についても適宜ご案内できるよう努めてまいります。			
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	12	3			・支援計画の内容を覚えていないので分からず。	・支援計画に沿った取り組みを、その都度フィードバックの際に丁寧にご説明致します。			
	7	子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	14	1			・要望に合わせたプログラムを作成してもらえてる。 ・思います。 ・しっかりしてもらっている。 ・思います。私の方が「なるほど」と思うこともあります。				
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14	1			・面談でお伝えしたことや、課題がしっかり反映されていて具体的で、親が見ても分かりやすい計画になっています。モニタリングもしっかりして下さっていて、子供の成長を振り返り感じることができて、うれしいと言う気持ちになります。				
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	14	1			・分かりやすく説明してくれている。 ・しっかりと計画に沿った内容でかつスマートで着実に支援が行われていると思います。 ・丁寧に説明してもらっており、合っていると思います。 ・そう思います。				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	12	2		1	・いろいろなことをやってもらっています。	・プログラムが長期間にわたる場合には、その内容や計画について保護者の皆様に分かりやすくご説明致します。			
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	5	2	4	4	・そういう機会はなかなか難しいと思う。 ・利用したことがない。 ・こども園に通っているので、機会はあります。 ・交流会について知らない。 ・特に希望はしていない。	・必要性を感じないというご意見もあるため、現状の取り組みを継続することが適切であると考えています。			
支援の継続性	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	14	1			・パンフレットを用いて説明がありました。 ・説明がありました。				
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				・ありました。 ・分かりやすくしてくれている。 ・いつも丁寧に説明してもらっています。 ・丁寧に説明してもらい分かりやすいです。				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレンツ・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	5	2	3	5	・今までそのような機会に参加したことがない。 ・個人的には受けたいです。ペアトレ等興味があります。 ・特に問題ないです。今まで良いです。	・今後も継続して家族支援についてはフィードバック時にご説明し、ご家庭でも行える支援内容やおすすめの動画もご提案していきます。			
	15	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況について共通理解ができると思いますか。	14	1			・登所した時には、フィードバックしてもらえてる。 ・フィードバックをしっかりしてもらっている。 ・いつも帰りに話をしてもらい、様子も分かりやすいです。 ・理解してもらっている。 ・帰りに伝えられている。				

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	15				・困ったことや不安なことは、いつも相談に乗ってもらっています。 ・きちんと行われています。 ・困った時や不安な時、すぐに相談にのってください、アドバイス頂けて助かっています。アドバイスも的確かつ具体的で有難いです。 ・これから面談予定です。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13	1		1	・フィードバックをしっかりをしてもらっている。 ・困ったことや不安なことは、いつも相談に乗ってもらっています。 ・たくさんお話しして頂いています。 ・話を分かりやすく伝えてくれたり、相談にも乗ってもらっています。	
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	3	5	6	・兄弟への支援は、兄弟がないため分からないです。 ・そういう機会について話が出たことがない。 ・父母の会があるなら教えてほしい。療育に通う子を持つ親の会を作ったので、周知させてほしい。	・開催に向けて教室内で検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	2		5		・フィードバック時の聞き取りを大切にし、ご家族の変化にも気づけるよう努めます。また、児童発達支援管理責任者が対応可能であること、お伝えしています。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	13	1		1	・されている。 ・きちんとしてくれている。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	8			7	・ホームページ、SNSをみていません。 ・WEBサイトを見ていないので、分かりませんでした。	・HPやSNSについては、今後も積極的にご案内し、公式LINEを活用して情報発信を行っていきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	13	1		1	・お迎えの時、状況報告がパブリックスペースで実施され、他の子の状況も聞こえてしまうため100%とはいえない（当方は気にしていないが、気になる人もいるのではないか？！）。	・玄関でのスペース確保を検討し、ご希望の保護者様には室内でフィードバックを行うなど、プライバシーに配慮した対応を今後も進めていきます。
	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	14			1	・ちゃんとしてくれています。	
非常時等の対応	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	13			2	・やってもらっている。 ・はい。定期的に行ってもらっています。 ・最近は、遠くまで歩けるようになってきたので、市立図書館までなら行けるようになったと思います。	
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	14			1	・ちゃんとしてもらっている。 ・しっかりと行ってもらっている。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			3	・事故、ケガをしたことがないため不明 ・些細な事でもフィードバックの時や電話で報告して下さるため、信頼・信用して子どもを預けることができています。 ・幸い当該事項に当たる状況が発生していない。	・ケガや事故が発生した場合は、必ず帰りに保護者へ報告し、緊急時には速やかにご連絡いたします。
	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	15				・嫌がることなく通っていると思う。 ・安心していると思います。 ・楽しみに通っている。 ・家に帰りたいと伝えることもあるが、すぐに切り替えて通っています。 ・嫌がらずに通っている。	
満足度	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	14		1		・毎週楽しみにしています。 ・楽しく通ってくれている。 ・「今日でらびあさんだよ！」と、伝えると「やつたー！お人形さんで遊ぶー！！」と、毎回喜んで通所させてもらっています。先生のことも、大好き！と、家で言っています。 ・毎回楽しそうに過ごしているようなので、安心しています。 ・カバンを見せてくると来てくれるの、楽しみにしてるんだと思う。 ・楽しみにしていると思う。	
	29	事業所の支援に満足していますか。	13	2			・満足しています。いつもありがとうございます。	

公表

児童発達支援事業所における自己評価結果

事業所名		児童発達支援事業所における自己評価結果				公表日	2026年 1月 9日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4		・玩具棚など配置も工夫されている。 ・十分なスペースを確保し、安全面も配慮している。 ・部屋のレイアウト変更をして、広いスペースをとれている。			
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4		・適切だと思う。 ・欠席が出たときに各教室からヘルプに行き来して対応している。			
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	1	・全ての扉に鍵があり、安全にも配慮されている。 ・個室やトイレにマークをつけて、分かりやすくしている。 ・トイレの前の段差が気になっている。	・トイレ前の段差については、保護者へ周知し、スロープの設置や段差を視覚的に分かりやすくする工夫を行います。		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	4		・朝夕に掃除を行っている。ゴミが落ちていたらすぐに捨てるようにしている。 ・毎クール終了後、玩具の消毒を行っている。 ・ケガのないようにクッション材を貼ったり、玩具を入れ替えたりしている。			
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4		・児に合わせて個室選びも行われている。 ・子どものその時の状況、状態によって対応している。			
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4		・ミーティングや教室内で話す時間を作れる環境がある。 ・計画をセラピーファイルに綴じているため入る前に確認できている。 ・毎月目標設定と振り返りをおこなっている。 ・振り返り、目標を立てている。			
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・フィードバックがしっかりとされている。 ・毎年、保護者からのいただいた意見を社内で共有し、改善につとめている。 ・いただいた意見を受け、共有し、改善に繋げています。 ・職員同士で共有し、改善できるように話し合っている。			
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4		・全体ミーティング、管理者ミーティングで細かな事も話し合いでいる。 ・朝礼、終礼での意見交換の共有を行っています。 ・朝礼、終礼で共有している。			
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4		・てらびあぽけっと本部に都度適切な指導やアドバイスをして頂いている。 ・てらぽけ本部の内部監査を実施している。			
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4		・業務時間内にラボへの参加ができ、スマールステップができている。 ・本部の研修に参加しています。 ・毎月ラボを受講し、療育の質の向上に向けて勉強している。			
適切な	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4		・丁寧に立案、周知されている。			
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	4		・アセスメントを実施し、保護者と定期的に面談を行い、作成している。			
	13 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4		・計画を作る際に、他の職員と意見交換ができる。 ・カンファレンスを行い、複数人で検討をおこなっている。 ・職員全員で共有したり、カンファレンスを行っている。			
	14 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4		・日々の終礼や担当間での共有がしっかりとできている。 ・セラピーファイルに計画をはさんで見れるように工夫している。 ・カンファレンスにて共有を行っている。			
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4					
	16 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4					

支援の提供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 担当間での話し合いやベテラン職員のアドバイスを受けられている。 児発管と担当、副担当で話し合い、相談をし行っている。 担当、副担当を決め行っている。 	・今後も継続して、活発なコミュニケーションがとれる体制作りに努めて参ります。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> プログラムが続くようであれば、違うものに変更するなどしている。 固定化しないようにしている。 話し合ったり、見直したりしている。 	
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 朝礼で時間をとり、話し合うことができている。 	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 朝礼にて共有をおこなっている。 	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 終礼にて共有、振り返りを行っている。 	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> セラピーファイルにて記録を行っている。 	
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4			
関係機関や保護者との連携	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 児発管が出席している。 児発管、担当者が参画している。 	
	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 園の見学を受けて話せる機会がある。 相談員さんを中心に行っている。 関係機関と連携している。 	
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援員や園と情報共有している。 相談員さんを中心に行っている。 園での様子は、保護者や相談員さんから情報共有してもらっている。 	・今後も継続して保護者向けに園の先生の見学受け入れを案内致します。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	2	2	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援員を通して、情報共有を行っている。 	・就学後の様子を把握することで、次年度の就学に向けての取り組みに活かせる事が出来るので、今後取り組みたい。
	(28~30は、センターのみ回答)				
	28 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30 (自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	(31は、事業所のみ回答)				
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 相談支援員の先生から、モニタリング時にご家庭での様子なども伝えていただけている。 相談員さんを中心に行っている。 	・相談支援員と連携し、情報共有を図ることで、より良い支援につながると思います。
支援の提供	32 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		4	<ul style="list-style-type: none"> 保育園や幼稚園を併用しているお子さまが多く、園の先生方に教室見学として来ていただいている、交流している。 	
	33 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> フィードバックの時間に、自宅の様子などのヒアリングを行っている。 フィードバックの時間を設けて共有している。 	
	34 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 家族支援を行っている。 本部が配信している動画の視聴を案内している。 	・家族支援時には、保護者に項目ごとに分けた動画視聴を案内することで、より効果的な支援につなげていきます。
	35 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 契約の際に丁寧に説明している。 	
	36 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 個人面談を行い、家族の意向を確認している。 	
支援の提供	37 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 必ず説明する機会を設けています。 	
	38 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4		<ul style="list-style-type: none"> 見学なども申し出にも対応し、普段の様子をみて安心していただいている。 時間をとって対応している。 	

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		4		
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4		・適切に対応していると思う。 ・早急に対応している。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4		・HPで案内している。 ・HPで避難訓練の様子を発信している。 ・HPの更新で情報や空きクールを伝えている。	・HPや公式LINEでの情報発信をさらに周知し、保護者への認知度向上に努めてまいります。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4		・鍵付きのロッカーにて個人情報を管理している。 ・取扱いに十分留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4			・フィードバック内容が伝わりやすいように、書き方やお伝えの仕方を継続的に工夫してまいります。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	2		
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4		・毎月、避難訓練やハーネス訓練を行っている。 ・年間で行う日を決めて訓練している。	・今後も各教室で、改善等の良い意見があれば、毎月の全体ミーティングで都度共有していきます。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4		・職員のみ、子供と一緒になど複数回行っている。 ・防災パックの見直しも行っている。 ・各教室BCPを掲示している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4		・一覧にして、分かるようにしている。 ・リストを作つて目に見えるところに掲示している。 ・聞き取りをし、共有している。	・実際に発生した時にも適切に対応できるよう、定期的に確認を行っていきます。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	2	2	・食事提供がないが、保護者から聞き取りをおこなっている。	・今後もアレルギーや発作等の注意事項は、セラピーファイルに一覧でまとめて、職員間で常時確認できるようにしていきます。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4		・訓練を行い、話し合っている。	・安全計画に基づく取り組みは、玄関掲示により保護者へ周知し、消防署での研修等もHPで発信するなど情報提供を強化します。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4		・避難場所や経路を掲示している。	・避難場所は公式HPに掲載し、保護者への周知を徹底していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4		・普段から気付いたことを共有している。 ・終礼時にヒヤリハットを共有し、再発防止について検討している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4		・研修により、虐待に関する正しい情報を得ている。 ・委員会を設置している。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	3	1	・ハーネスを着用する際は、必ず保護者に伝えている。 ・計画に記載しているかは分からない。	・今後も継続して身体拘束の周知方法については、職員間で情報共有し、保護者への説明を徹底する。

公表

児童発達支援事業所における自己評価総括表

○事業所名	てらびあぽけっと四日市西浦教室			
○保護者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 11月 20日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	15	(回答者数)	15
○従業者評価実施期間	2025年 10月 1日 ~ 2025年 10月 31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 12月 18日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・より良い支援のために、全職員でのミーティングで意見交換や情報共有を行っています。	・全員が同じ方向性でセラピー等に取り組めるよう情報共有を密にし、マニュアルを作成するなど、安定した支援を提供できる体制を整えています。	・より良い方向を目指して継続的に改善、話し合いを実施していく。 ・職員が意見の出しやすい雰囲気作りを心掛けていく。
2	・清掃が行き届いており、子どもたちが快適に過ごせる環境づくりに努めています。	・始業前、始業後に清掃を行っている。 ・ゴミが落ちていたら直ぐに捨てる。 ・毎クール毎に玩具の消毒を行っている。 ・ケガがないようにクッション材を貼ったり、玩具などの点検をしている。	・月に一回などで定期的にいつもの清掃では、行き届かない場所の清掃を行う。 ・他教室との玩具交換の際に壊れた玩具がないか確認を行う。
3	・家族支援を積極的に行っている。	・本部の研修（てらぼけラボ）に積極的に参加し、療育の質の向上に努めている。 ・保護者からのご意見や共有事項は、終礼等で職員全体で共有しています。	・本部の研修動画を積極的に視聴する。 ・家族支援の良い事例はテーマごとに一覧化し、経験の少ない職員の教育にも活用する。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・バリアフリー対応が不十分。	・トイレの手洗い場の前に段差があり、転倒の恐れがある。	・段差に貼ってあるテープが目立たなくなっているので、より分かりやすい色・テープなどで表示する。
2	・クールによって、集団活動やソーシャルセラピーが難しい場合がある。	・クールが一人利用の場合 ・複数人いても年齢がバラバラ。	・一人利用や、複数人でも年齢差が大きい場合には、スポット利用を勧めたり、他のお子様を同じクールに入れるなどの工夫が必要。 ・年齢が異なる場合でも、それぞれに合わせた目標を設定し、少しでも関わりが持てるように行う。
3	・家族で学べるサポートについての情報提供機会が不足している。	・毎月、QRコードやパスワードの変更をした際に、ご案内する方法が確立できていない。	・フィードバック時に統一したご案内の声掛けを実施していく。